



ベビーカレンダー
Baby Calendar

株式会社ベビーカレンダー
(東証グロース 7363)

2023年12月期第3四半期決算説明資料

2023年11月14日

1. 2023年12月期 第3四半期決算サマリー
2. 2023年12月期 業績予想の修正について
3. 成長戦略（M&Aの進捗）
4. Appendix

1.2023年12月期 第3四半期決算サマリー



- 売上865百万円（前年同期比111%）、経常利益△10百万円となりました。

2023年12月期 第3四半期					
	実績 (百万円)	構成比 (%)	前年同期 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	865	100.0	774	100.0	111.1
営業利益	△17	-	6	0.8	-
経常利益	△10	-	5	0.7	-
税引前当期純利益	△29	-	5	0.7	-
当期純利益	△31	-	2	0.3	-



- 経常利益が計画より下回った主な要因（利益金額）は下記の4点になります。

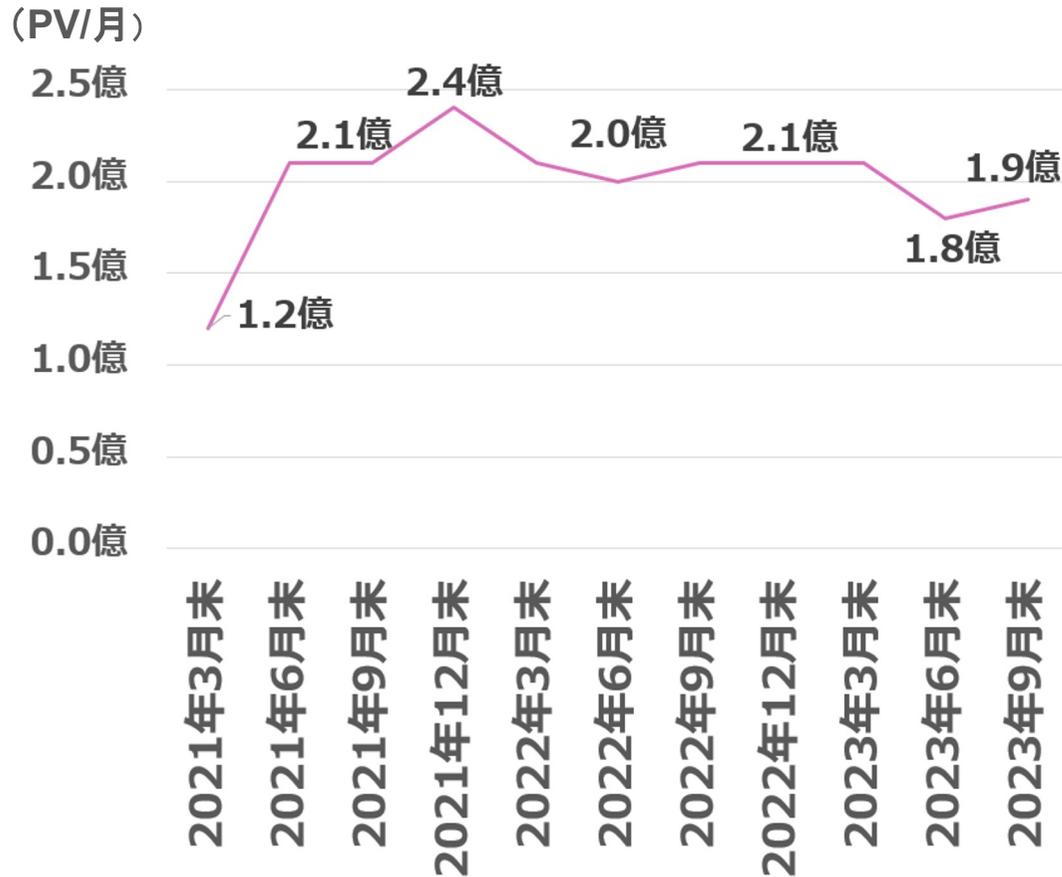
セグメント名	内容	利益 (百万円)
メディア事業	PV連動広告の売上に対する利益 →月間のPVが計画より下がり、比例して広告売上（ほぼ利益）が未達	△ 47
	成果報酬広告の売上に対する利益 →3月スタートの新広告メニューが計画未達	△ 13
医療法人向け事業	新規のホームページ制作売上未達	△ 11
M&A関連	事業譲受にかかるコスト（手数料、償却費、利益）	19
合計		△ 90

- ・ PVについては、記事配信先サイトの仕様変更による露出ダウン、ユーザー投稿コーナーの遅れなどが原因となり、次年度に向けて改善をはかっています。
- ・ 成果報酬広告の未達も、新メニューの開発およびタイアップの強化による売上増を見込んでいます。



ベビーカレンダー PV推移

ウーマンカレンダー/ムーンカレンダー/介護カレンダー・SNS系(※) PV推移



※本年度より拡大を推進したベビーカレンダーSNSのPV数を追加しました。

2. 2023年12月期 業績予想の修正について



- 先日(2023年10月16日)発表済みとなりますが、第4四半期の見込みを想定し、2023年12月期の業績予想を下方修正いたしました。

(単位：百万円)

	第3四半期 累計実績	修正予想	前回予想	増減額	増減率(%)
売上	865	1,200	1,257	△57	△4.5
営業利益	△17	△35	80	△116	△144.0
経常利益	△10	△28	79	△108	△135.7
税引前当期 純利益	△29	△47	79	△126	△159.0
当期純利益	△30	△49	51	△100	△194.7

■ 修正の理由

2023年12月期通期において当期成約したM&A案件による事業損益および費用を計上したことなどにより、営業利益及び経常利益が予想を下回りました。また、有価証券評価損18百万円を計上したことにより、当期純利益が予想を下回りました。



■ 主な予算未達の要因は下記になります。

※通期見込み

セグメント名	内容	利益 (百万円)
メディア事業	PV連動広告の売上に対する利益 →月間のPVが計画より下がり、比例して広告売上（ほぼ利益）が未達	△ 68
	成果報酬広告の売上に対する利益 →3月スタートの新広告メニューが計画未達	△ 24
合計		△ 92

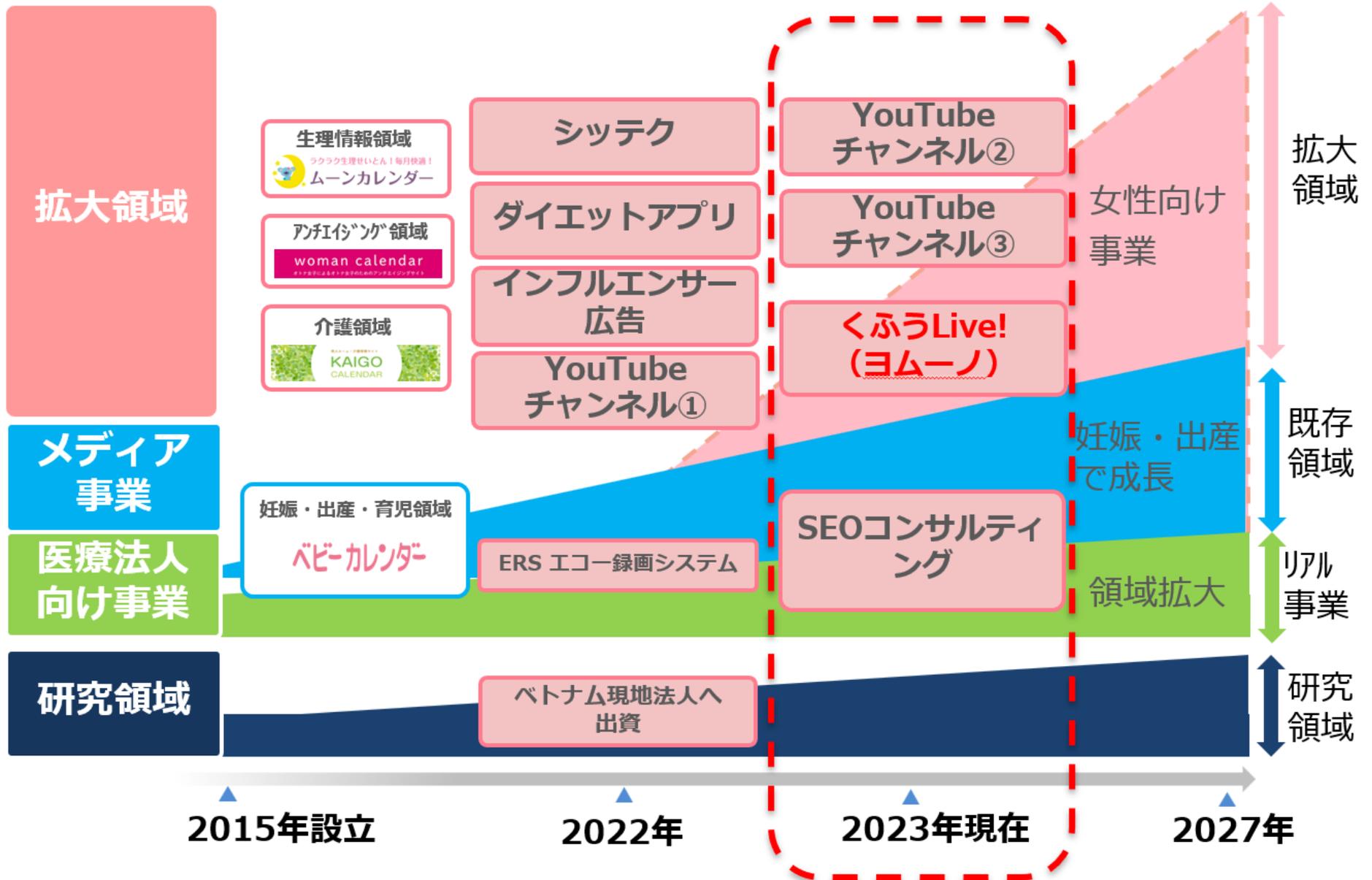
セグメント名	内容	金額 (百万円)
M&A関連	手数料、償却費、損益など	76

3. 成長戦略（M&Aの進捗）



3. 成長戦略（M&Aの進捗）

ベビーカレンダー





■ 株式会社くふうカンパニー（東証グロース：4376）グループの株式会社しずおかオンラインが運営する“暮らし情報メディア「くふうLive!」”を譲受

・ 名称を「ヨムーノ」へ変更して2023/11/15より弊社にて運営開始

・ 『ヨムーノ』とは、

コンセプト：忙しくても「暮らしをもっと楽しく賢く！」

提供価値：暮らし全方位の「すぐ実践できるトレンド情報」を発信

ジャンル：人気のショップ情報やグルメ、ファッション、ビューティ、インテリア・収納、節約・マネーなど

ユーザー層：20～40代の既婚女性が中心

・ スペック（月間）

国内 生活総合メディア圧倒的 No.1 (※1)



(※1) 生活総合情報メディア 月間利用者数No.1(2022年1月 ログガイド調べ。「単ジャンル」ではなく複数のジャンルの扱う「生活総合情報メディア」を対象とし、各メディアの公開情報に基づく。ブラウザベースまたは端末ベースにより集計)
 (※2) 2023年1月時点(ログガイド調べ)
 ※各グラフは各年の最高値

4.Appendix



4. 会社概要

会社概要

会社名 株式会社ベビーカレンダー

所在地 本社：東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビルディング10F
三島開発センター：静岡県三島市大社町18-7 小林ビル2F
大阪支社：大阪府大阪市中央区西心斎橋1-5-5 8F

設立日 1991年4月

資本金 285,030千円（2023年9月現在）

事業内容 メディア事業
医療法人向け事業

執行体制
代表取締役 安田 啓司
取締役 福島 智晴
取締役 竹林 慶治
取締役 佐々木 和幸
社外取締役 高橋 静代
監査役 黒岩 大輔
社外監査役 峯尾 商衡
社外監査役 片山 智裕

従業員数 89名（2023年9月現在）

沿革

1991年 経営コンサルティング業務を目的として、株式会社ロジスティクスコンサルティングを設立

1994年 日本テクト株式会社に商号変更

1996年 医療用液晶情報端末の開発・製造及びシステム開発を開始

2008年 産科施設向けベッドサイドシステムをパッケージ化した「MediPac mama」（現在のベビーパッドシリーズ）を発表し、産婦人科向け事業を開始

2015年 株式会社クックパッドベビーに商号変更
クックパッド株式会社から妊娠・出産サイト「クックパッドベビー（現ベビーカレンダー）」を譲り受け、メディア事業を開始

2017年 クックパッド株式会社から事業譲渡（MBO）を実施し、株式会社ベビーカレンダーに商号変更

2018年 本社を東京都渋谷区に移転

2020年 g aデザイン株式会社の株式を取得後、吸収合併し、大阪 g aデザイン支社を設立

2021年 東証マザーズに上場

2022年 ダイエットアプリ「ゆるっぷる」、インフルエンサー事業「gramo」、マッチングアプリメディア「シッテク」YouTubeチャンネル①を譲り受ける。

2023年 また、ベトナムレシピ動画サイト「wanna」に一部出資。YouTubeチャンネル②、SEOコンサル事業を譲り受ける。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。